

能登の里海環境・文化の持続可能性構築

活動地域  石川県

LOVE BLUE助成

3年目

実践

海岸清掃活動参加者 **273人**

魚種調査 **7回**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **80%**

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

特に里海の活動は風雨のみならず波浪などの影響を受けることから、安定的な事業実施が難しい。半面、魅力的な活動も多いことから、天候に留意して実施した。

■工夫した点

春から秋の活動が多くなる中で、いわゆる閑散期となる冬季の体験プログラムの発掘を心掛けた。また、楽しみ中にも「学び」の要素を入れるよう配慮した。



多くの参加者でにぎわった釣り大会

課題

里山里海を楽しみながら、その魅力や生活文化との関連性を参加者に学んでもらい、結果的に自然への関心を高め、これまでの課題であった保全活動等への参加率を向上させる。

目標

里山里海活動そのものが楽しく、意義あることを知っていただくため、まずは様々な活動への参加者を増やすことを目指した。新型コロナウイルス禍以外の期間はおおむね良好。

活動内容と成果

楽しむ活動として近年少なくなった釣り大会を開催したが、コロナ感染リスクも低いことから、今年度も多くの参加者があった。クリーンビーチも例年多くの方に参加いただいていたが、蔓延防止期間や荒天のため例年より少ない参加となった。

また、新たに冬の里海の魅力を発掘するため「里海ウォーキング」を実施したが、好天にも恵まれ今後の魅力的なプログラムとしての手ごたえを得ることができた。

NPOの対応スタッフや通年の運営を考慮すると、いわゆる夏場などハイシーズンのみならず冬季の体験プログラム開発も重要な視点である。



冬の新たな魅力発見 里海ウォーキング

全助成期間の活動を振り返って

助成事業を計6年間実施することができた。それまでは里山活動を中心に活動を展開してきたが、助成事業を契機に、会員はもとより多くの市民や児童生徒が改めて能登半島最先端珠洲の「里海文化」を再認識し、その魅力や潜在力、ひいては「里海」の重要性を感じていただいたと実感できた。特に、里海調査や里海ウォーキング等は、当NPOの通年活動展開の契機となり大変有意義な助成事業であった。



地域に定着してきたクリーンビーチ活動

〒927-1462
石川県珠洲市三崎町小泊33-7
電話：0768-88-2528
E-mail: satoyamasatoumi2006@gmail.com
HP: <http://www.satoyama-satoumi.com>



今後の展望

当助成事業の活用によって、当NPOは名実ともに里山里海活動を実践する団体となり、ほぼ通年13事業（生業系4、調査4、保全系3、体験2）を展開している。近年、会員の高齢化が進んでおり、若年会員を中心に会員拡大や各事業の安定化が必要な状況である。今後は、年間を通じた多様な活動の映像を学習素材や広報ツールとして編集し、積極的な広報活動及び環境学習に取り組む予定。